

2 じょうほう じょうほう し えん たいせつ 情報バリアフリー・情報支援の大切さ

かいせいしょうがいしゃきほんほう かんが かた じゅんび すいしんかいぎ しょうがい ひと
改正障害者基本法のもととなる考え方を準備した推進会議には、さまざまな障害のある人がいます。
かいぎ りかい じぶん かんが はつげん しえん
会議をきちんと理解して、自分の考えていることをしっかりと発言するために、いろいろな支援
があります。

ちてきしょうがい ひと し えんしゃ かいぎ しりょう が な
たとえば、知的障害のある人には、支援者がついています。会議の資料には、ふり仮名がつけら
れています。また会議の中で、難しい言葉が使われたり、今、何が起きているのか分からないとき
には、「イエローカード」(下の写真を見てください)を使って、議長に伝えることができます。耳が
きこえなくて、話されていることが分からない人のためには、パソコンを使って、何が話されている
かを字幕にする人(筆記者)がついています。

めが み えなくて、みみ き きこえない ぼうろう しゃ には、ゆび てんじ う つうやくしゃ
目が見えなくて、耳が聞こえない盲ろう者には、指に点字を打つ通訳者がついています。また、手
わつうやくしゃ しゅ わつうやくしゃ しゅわ ひと しゅわ ひと たが りかい
話通訳者がいます。手話通訳者は、手話ができる人と、手話ができない人がお互いに理解すること
を手助けしてくれる人です。

こうした、いろいろな障害に応じた対応(合理的配慮)は、ぜんいん かいぎ さんか
こうした、いろいろな障害に応じた対応(合理的配慮)は、全員が会議にきちんと参加するため
はかせません。

すいしんかいぎ ようす ないかく ふ ちゅう どうが み どうが
推進会議の様子は内閣府のホームページ(注)の動画でも見られるようになっていきます。動画に
じまく しゅわ
も字幕と手話があります。ぜひ、ご覧ください。

※パソコンを持っていない、使うことが難しい人は、住んでいる街の役所や支援者などに相談して
みてください。



すいしんかいぎ つちもとあきお こうせいいん
推進会議で土本秋夫構成員がイエロー
カードを出している様子

ちゅう
(注)

ないかく ふしょうがいしゃ し さく
内閣府障害者施策ホームページ

<http://www8.cao.go.jp/shougai/index.html>